

太字で質問内容を、斜体は提出した書類からの引用を、赤字太字は僕からのアドバイスです。

筆記試験が終わって「落ちた」と思った。というかなんだよ、この激ムズの問題。どこよりも難しいじゃねーかよ！！

激難で、もう復習する気もないので、そのまま受けることにした。

面接室には自分が志望書に名前を書いた田代先生、寺田先生、佐藤先生、勝田先生の4人の先生がいらっしゃるとしたら、佐藤先生と田代先生がいない。

最悪なことに明日はH2A ロケットの打ち上げのため、田代先生と佐藤先生はその準備のためいらっしゃらないようだ。

面接が始まった。

「西濱くんは博士課程に行きますか？」

「はい、行きます」

「奨学金は借りる予定ですか？」

「はい、借りる予定です。」

院生になると、無利子の奨学金が、世帯収入等関係なく、個人収入が一定以内なら誰でも借りるようになる。そしてもし成績上位x%に入ると、返済免除になるので借りておいたほうがいいのだ。

「併願先はありますか？」

「神戸と大阪です。」

「結果は？」

「神戸が合格でした」

一同「おめでとうございます」

寺田先生と勝田先生から質問が来ているような来てないような感じで、最終的には自分たちは西濱くんのことよく知っているのだから…みたいな感じで終わった。

次に違う研究室の先生から質問だ。

「試験の出来はどうでした？」

「超絶酷いですねー」

「具体的には？」

「物理学Ⅰのほうがまあ解けて、物理学Ⅱはまあ解けません。よくわかりません。(ハハハ)」

「なんで解けなかったんですか？」

「いや、誘導なさすぎたんで(笑)。もっと誘導あればできました！」

「試験問題への文句ですか??」

「はい」

(一同笑う)

「いま、解けますか？」

「無理です」

「わかりました。では、他の先生は質問ありますか？無さそうなので終わりにします。」

めっちゃめっちゃラフに終わった。